



キョーシン精工 環境経営レポート

第43期

(対象期間: 2024 年10月1日～ 2025 年9月30日)



作成日： 2025年10月24日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10

エコアクション21を活用して 環境への取組を推進していきます

環 境 経 営 方 針

環境経営理念

(有) キョーシン精工は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し
環境保全と継続的な改善に努め、人に優しい工場環境の実現を目指して行動します。

環境保全への行動指針

- 1 . 電力、燃料の消費による二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
- 2 . 資源・エネルギーの節減と、節水により水資源の利用削減に努める
- 3 . 不良による資源の消費量、廃棄物量を削減する。
- 4 . 分別、リサイクルによる廃棄物の軽減化に努めます。
- 5 . 環境側面に関する法令及び当社が同意したその他の要求事項を遵守する
- 6 . 環境保全活動の継続的な改善と事業活動による環境汚染の予防に努める
- 7 . 環境に配慮した製品又はサービスを提供する
- 8 . 改善や自動化の取り組みを行い、持続可能な企業活動に努める
- 9 . お客様と環境に最適な変革を、時代の変化に対応し実現する



制定日：2025年10月1日

(有) キョーシン精工
代表取締役社長 長崎 紀夫

組 織 の 概 要

更新日：2025年10月1日

- (1) 名称及び代表者名
(有) キョーシン精工
代表取締役社長 長崎 紀夫
- (2) 所在地
本社工場 長野県上伊那郡宮田村1997
第二工場 長野県上伊那郡宮田村大田切

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 長崎 紀夫 TEL：0265-85-5115
担当者 竹澤 習 FAX：0265-85-5118

- (4) 事業内容
プラスチック成形金型・プラスチック製品の製造・販売・組立・加工

(5) 事業の規模

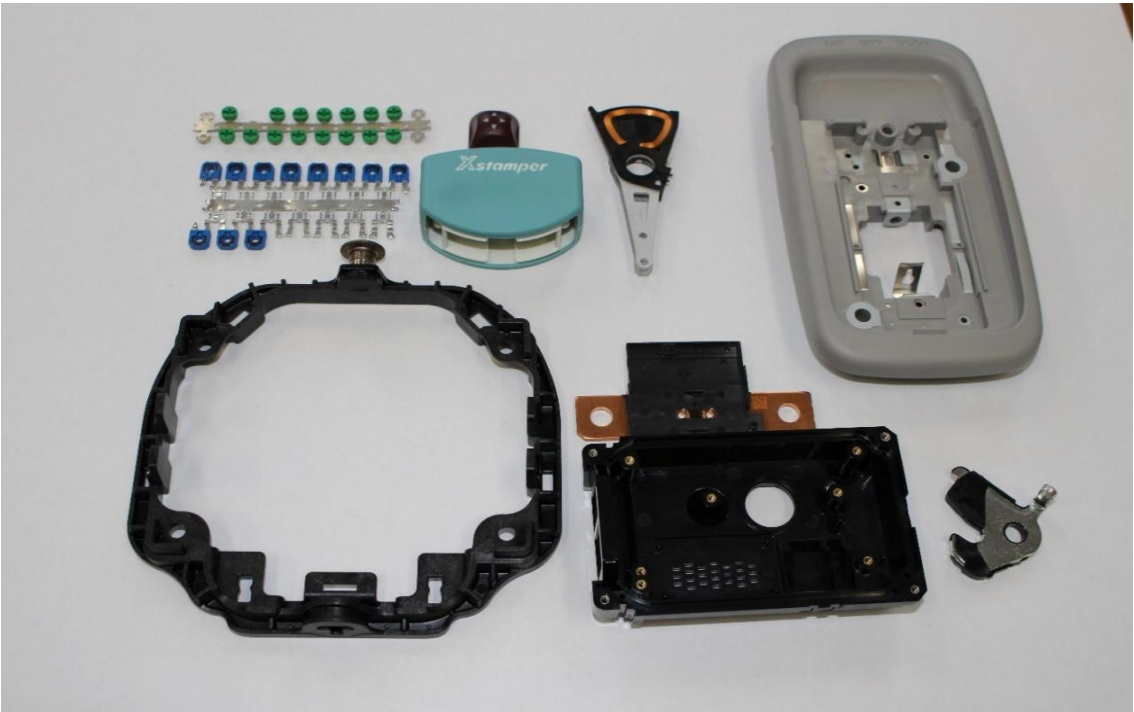
第43期年度	349,586	千円			
	本社工場		第二工場		合計
従業員	名	15 名	5 名		20名
延べ床面積	m ²	2192 m ²	1404 m ²		3,596m ²

- (6) 事業年度 2024 10 月 1 日 ～ 9 月 30 日

- 認証・登録の対象組織・活動
登録組織名： (有) キョーシン精工
対象事業所： 本社工場
第二工場

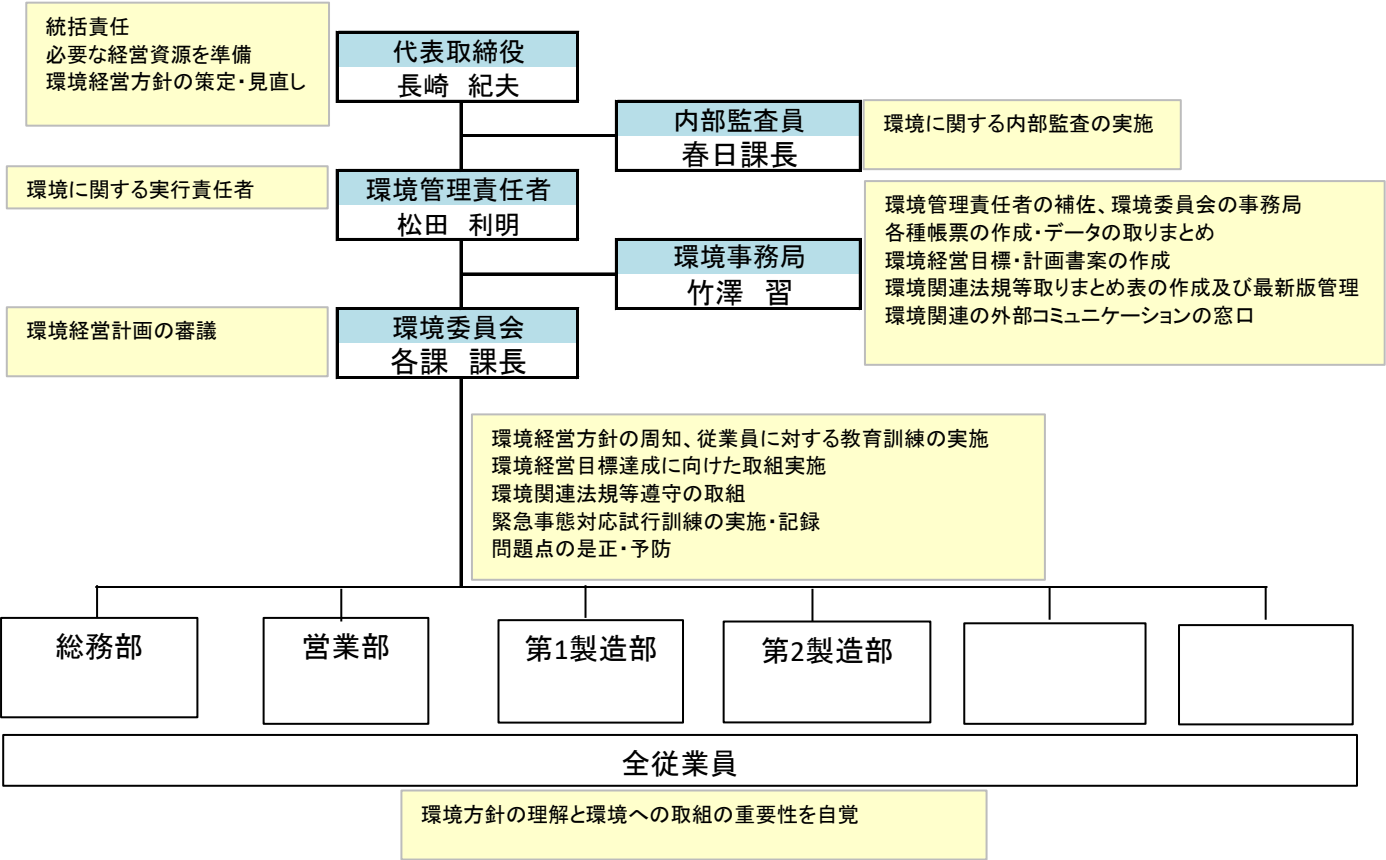
活動：プラスチック成形金型・プラスチック製品の製造・販売・組立・加工
全組織、全活動を対象としている

□事業や製品(商品)の紹介



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日： 2025年10月24日



主な環境負荷の実績

項 目	単位	第41期	第42期	第43期
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	305,559	315,981	318,973
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	0	0	0
産業廃棄物排出量	k g	1,557	1,250	5,990
水使用量	m ³	3,901	334	1,428
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.493	0.493	0.493

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

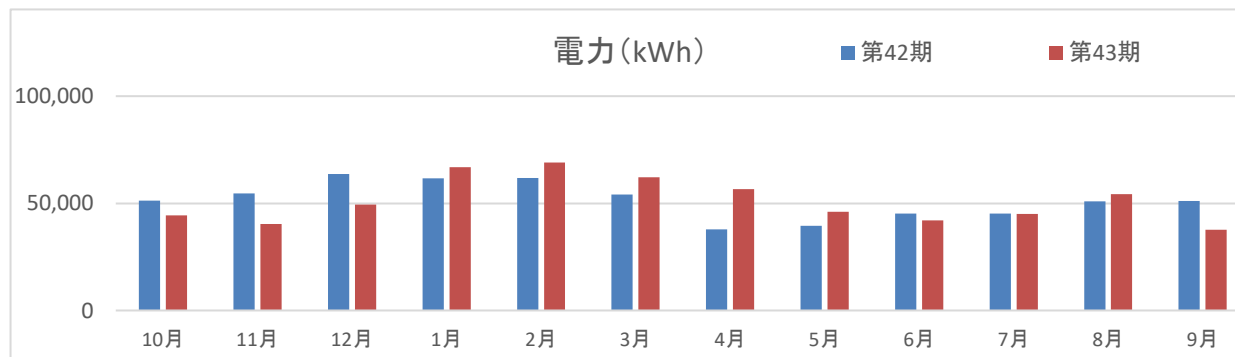
年 度		基準値	第43期		評価	第44期	第45期
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	300,705	297,698	302,589	×	294,691	291,684
	基準年度比	第42期	99%	101%		98%	97%
	原単位	kWh/百万円	1.526	1.511	×	1.496	1.481
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	5,647	5,591	9,001	×	5,534	5,478
	基準年度比	第42期	99%	159%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,647	4,600	7,384	×	4,554	4,507
	基準年度比	第42期	99%	159%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	310,999	307,889	318,973		304,779	301,669
産業廃棄物の削減	kg	4,306	4,263	5,990	×	4,220	4,177
	基準年度比	第42期	99%	139%		0.98	0.97
水道水の削減	m ³	1,243	1,231	1,428	×	1,218	1,206
	基準年度比	第42期	99%	115%		98%	97%
化学物質の管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

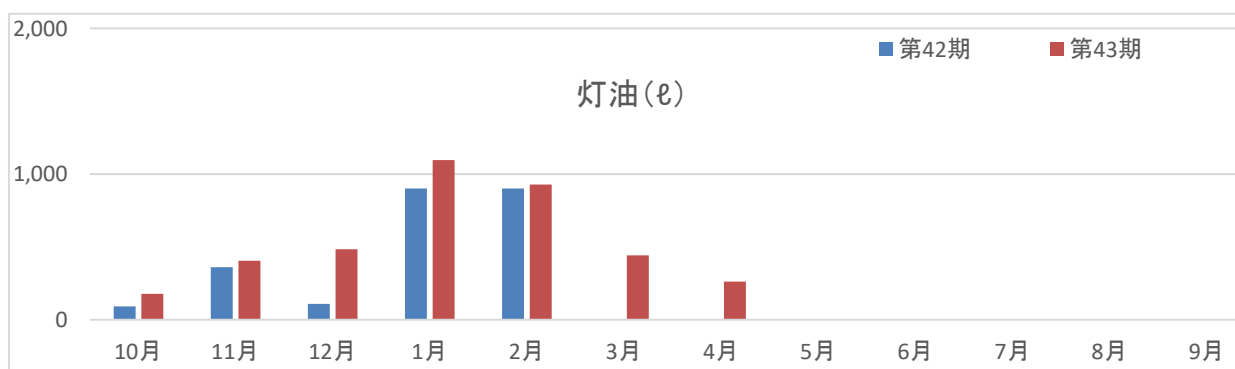
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】おおむね目標数値となった。 【次年度の取組】引き続き活動を継続する。照明のLED化や不要な機器の停止を行う。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	×	
・生産方法の改善による時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	



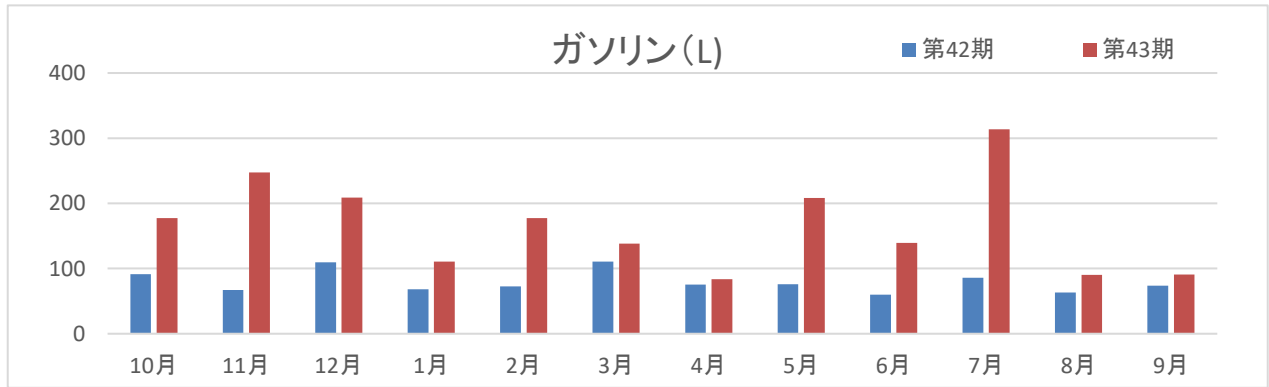
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第42期	51,249	54,596	63,727	61,644	61,868	54,169	37,818	39,583	45,247	45,247	50,866	51,043
第43期	44,313	40,399	49,339	66,811	68,994	62,226	56,615	46,016	42,104	45,007	54,260	37,686

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】石油会社の入力が入社分漏れていた為その分増加した 【次年度の取組】引き続き活動を継続する。窓や建物の断熱対策を行う。
原単位目標	×	
・暖房温度の適正化	○	

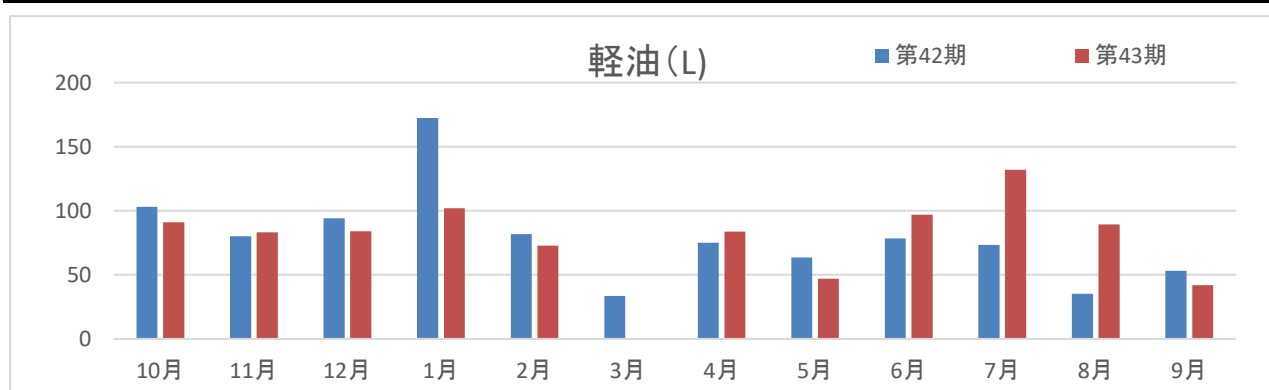


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第42期	91	360	108	900	900	0	0	0	0	0	0	0
第43期	177	405	483	1,095	928	443	261	0	0	0	0	0

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】石油会社の入力が入社分漏れていた為その分増加した 【次年度の取組】引き続き活動を継続する。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	△	

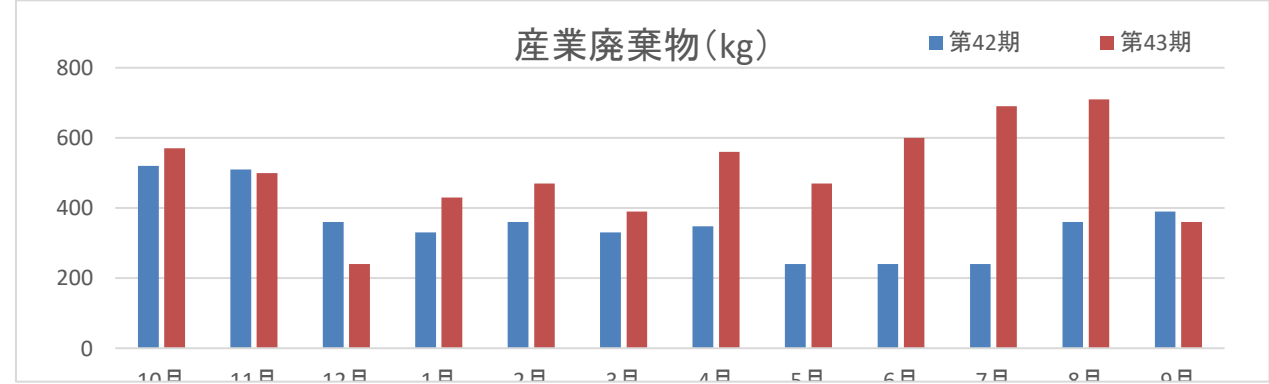


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第42期	91	67	110	68	73	111	76	76	60	86	63	74
第43期	177	248	209	111	178	139	84	208	139	314	90	91



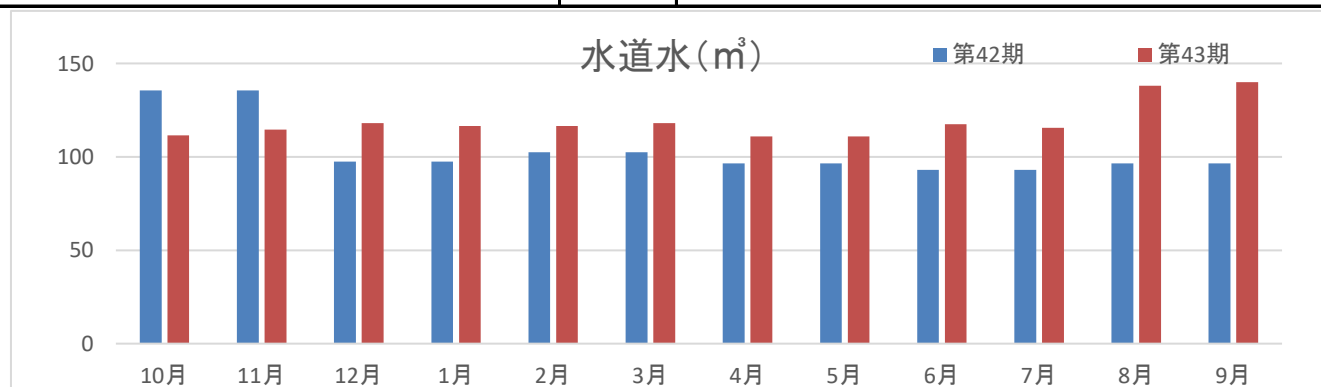
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第42期	103	80	94	172	82	34	75	64	78	73	35	53
第43期	91	83	84	102	73	0	84	47	97	132	89	42

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】生産の影響で増加した。 【次年度の取組】分別の徹底を行う。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第42期	520	510	360	330	360	330	348	240	240	240	360	390
第43期	570	500	240	430	470	390	560	470	600	690	710	360

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】冷却水として使用したので増加した。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	【次年度の取組】冷却塔の使用などで改善する。
・自動水栓取り付け	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第42期	136	136	98	98	103	103	97	97	93	93	97	97
第43期	112	115	118	117	117	118	111	111	118	116	138	140

化学物質の管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】化学物質の使用はなかった。
・SDSの管理	○	【次年度の取組】引き続き適正管理に努める。
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・持続可能な原材料の採用	○	【評価】適正使用ができた。
		【次年度の取組】引き続き適正管理に努める。
課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	【評価】日々の活動で実践できている。
・企業価値向上による顧客獲得	○	【次年度の取組】引き続き実施に努める。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	空気圧縮機の設置
振動規制法	空気圧縮機の設置
水質汚濁法	油流出（緊急時処置）
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

環境上の苦情は当該年度ありませんでした。

消火器の明示の改善

緊急事態の想定： 消火器の明示	
■実施日： 2025年8月26日	■実施場所 本社工場
■参加者： 全員	
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☐ 避難訓練 火災を想定して確認した。	
■評価： 計画どおり実施できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■添付資料 改善提案『消火器の明示の改善』	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年10月24日

- 1【目標の達成状況】
電気、水道の使用量は概ね目標通りに達成できた
- 2【法令等の遵守状況】
適用される関連法規についての遵守状況は十分に満足されている。
- 3【外部からの苦情要望】
苦情、要望事項としては一件もない。
- 4【環境法規制の改正、環境に関する新しい技術などの情報】
特になし
- 5【前回までのマネジメントレビュー】
前年同様に「行程不良の削減」、「生産性の向上」が大きなテーマである不良削減、工数削減について具体的な内容が欲しい。
- 6【改善のための提案】
部門全体には改善活動がなされている。
- 社長の評価
例年のことであるが、売り上げの増加と原価低減により利益確保することと、環境負荷低減のため活動目標を見直し活発な活動を期待する。

環境経営方針	☐ 変更なし	☒ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり